~ Serving the Community and Supporting the YMCA since 1976 ~



埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ:ジェンダー、新たな視点

2024年 1月



2023-24 年度 クラブテーマ「地域と繋がろう・地域に知らせよう」







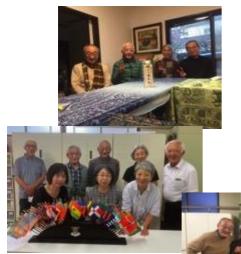




2023 年を振り返る

月例夜談会は会場を9月から浦和駅へ移動。2月は東西交流会@神戸で4奉仕団体シンポジウムを実現。3月はYs100周年大会@台北/埼玉Y50周年記念会/ジェンダー学習例会を開始。十勝の区大会配件乳化。6月の区大会配甲で。今年度はジェンダー学習を計画化。今年度はジェンダー学習を計画化。2月の最後であれている参加学生を支援。11月は後もジェンダー。10月からイスラエルに公認が攻撃。左下の写真は活動ではない。パレスチンがらのオンライン写真「瓦礫でのイエス」だ。騒がず静かに感謝の気持記)フリスマスを覚えたいと掲載。(浅羽記)









今月の聖句

「あなたがたの思い煩いを、いつさい神に ゆだねなさい。 神があなたがたのことを心配 してくださるからです。」

ペトロ第1の手紙5章7節

2月「春は名のみ」例会

日時: 2月17日(土)14時~16時 会場:浦和YMCA 北浦和駅西口 歩4分

プログラム:ジェンダーを学ぶ

2月 夜談会

日時:2月12日(月)午後6時~8時

会場:サイゼリア(浦和駅東口)

・ 気楽に知り合い見識を深める拓けた大人の会

特集

埼玉浦和 YMCA の思い出 (浦和 YMCA に集った人々) ―その 1 2024 年 3 月末をもって、その長い歴史を閉じることになった浦和センター。多くの子ども達、ユースやシニアの方がここで集い、活動を行い、それを支えてきた浦和センター。ちょっと寂しい気持ちもありますが、所沢センターの拡充等の選択と集中によって、今まで以上に魅力のある埼玉 YMCA になっていきます。今回はその浦和センターに集った人々を 2006 年までさかのぼって画像を中心に 3 回に分けて特集していきます。 (写真提供と説明 衣笠メン)



2006 年. なんと懐かしい方々が集っています。埼玉 YMCA スタッフ、子ども達、ユースリーダー、各活動クラスの先生方などです。 桒原前埼玉 YMCA 総主事の姿もみえます。



2009 アートクラスの先生



2009 浦和センターフェスティバル 英語クラスの先生方



2007 浦和センターフェスティバルでの小林ワイズのそば打ち名人です。

浦和センターフェスティバルは卒業したリーダーが帰ってくる居場所(ホームカミング)でもありました。



浦和センターフェスティバルで活躍するリーダー達



キャンプソング「ズンゴロ節」で 盛り上がる



フェスティバルに集う埼玉クラブの方。故河村メン、紺野メンの姿もみえます。





埼玉ワイズクリスマス祝会





2010 年から始まった「心のふるさと歌声集会」 約 10 年間で 100 回以上続いた歌声集会の第 1 回 目この 浦和センターで約 30 人が毎月集いました。地域のご高齢の方々の居場所つくりとしても 重要な活動でした。

*コロナ禍で現在活動は休止中。(編集子)

2012 年埼玉クラブのクリスマス祝会。所沢クラブ、川越クラブも参加されて行われました。浦和センターC室いっぱいになりました。なつかしいユースリーダー、スタッフの顔もみえます。

諸報告

◆ 1 月夜談会

今年最初の夜談会を 15 日に浦和のサイゼリアで開催。ビジターは八王子クラブの小口多津子メン。町田から遠路はるばるお越しくださった。それぞれのクラブの話をしているうちに、上松メンと小口メンが何と青学の同窓だと判明。関田牧師のことなど話は一段と盛り上がった。閉会前には小口メンは 3 月のチャリティコンサートをアピール。八王子クラブが長年手掛けてきた活動だ。写真はコンサートとフードバンク募金の案内を掲げる小口メン、上松メン、浅羽会長夫妻。(浅羽 記)



◆1月「ミラクル」定例会



新年例会を20日に浦和YMCAで開催。3月には閉館する浦和YMCAを思い、YMCAは運動であるとの思いで「ミラクル」例会と会長の命名。例会は衣笠メンがテキストのジェンダー研究の箇所から発題したが、話はそこから意外な展開。日本における熟年夫婦のドライな関係(というイメージ)について、自分たちの体験(控えめに)やキリスト教信仰等について積極的に意見交換。参加者に女性や子育て世代いたら議論はどうなったか。夫婦について議論できたこと自体、数あるクラブの中でも珍しいと思う。これぞまさに「ミラクル」例会だった。(浅羽記)

写真:浅羽 上松 衣笠 伊藤 水無瀬 (パソコン画面)



YMCA の小窓から

埼玉ワイズは浦和 YMCA を応援しています。

2024年1月5日~7日に新潟県 南魚沼市にて

「BigSmile スキーキャンプ」を実施しました。浦和・川越クローバークラスとアップ(卒業生)に在籍している子どもたちが参加し、これまでもお世話になっている大峰館に宿泊しました。

BigSmile スキーキャンプでは、初めてスキーをするメンバーも数人いました。「ちょっとこわい…」というメンバーもいれば、「リーダーみたいに上手に滑れるようになりたい」とわくわくしているメンバーもいました。みんなスキーを楽しむことができました。

ゲレンデは雪不足で地面が見えているところもあり、滑りにくさを感じることもありましたが、子どもたちがその環境に順応していく姿がとても印象的でした。

2日目の夜にはタレントショーを行いました。

3 日間子どもたちはゲレンデでたくさん転びながらも大きな怪我もなく過ごすことができました。

これからも子どもたちが、また行きたいと思うようなキャンプを実施していきたいと思います。

(川越/浦和 職員 長谷川洋輔さん)





今後の予定

- ・ 後期の区費・部費、各種献金の納入。
- ・ 次期クラブ役員体制づくり (大変です)
- ・ ジェンダー学習を続ける中で、春にワイズ対象 にオンラインでジェンダーを語り合う案が浮上。 可能ならば埼玉3クラブを中心に企画を進めた い。これから話を進めていきたい。



仲間からのお便り 🍙



- ◆ **塀和光二郎**メン 今月の俳句(俳号 愚道)
- ① 元旦の大地震とは陽は隠れ 本当に前代未聞の大地震、太陽の神もお隠れになったのか
- ② 大晦日超える悦び捨てる過去 大晦日はここまでこられた喜びと過去の日記を廃 棄する日となります。
- ③ **1月や未来見据える望遠鏡** お節料理の蓮の穴は未来まで見通せるようにという意味があるそうですね。

[追伸] 能登半島地震への支援を考えていて、毎年広島に千羽鶴を届けているエコピースくらぶとして、心ある皆さまに折り鶴一羽と千円のご負担をお願いし、千羽鶴を作りたいと思うにいたりました。1000人の方に呼びかけられるか不安ですがはじめました。ワイズの皆さん、よろしかったらご協力よろしくお願いいたします。

◆ 浅羽俊一郎メン

正月早々、息子一家がジュネーブに 2 週間余り滞在した。休暇ではない。滞在先でもしっかりテレワークの共働き。日本の勤務時間に合わせて仕事する間は娘をベビーシッターに預ける。WiFi環境は必須の要件。私が現役の頃と時空間の感覚が全く異なる今の社会。ついていくのがやっとだ。でも白一面の近くの公園で雪と戯れる孫娘の写真を LINE で見せてくれると何とも嬉しい。

統計	出席	会員	ゲスト/ビジター
月例会 (1/20)	5	5	-
夜談会 (1/15)	4	2	2

ワイズメンズクラブ とは

ワイズメンズクラブ国際協会 (Y's Men International) は青少年団体 YMCA を支援する国際的な奉仕運動。若者の自立と生き生きした地域作りを目ざす一般社団法人です。政治信条・性別・肩書きや年齢差に関係なく国内外の交流を進めている。埼玉クラブは浦和で活動している。

詳細は埼玉クラブ 浅羽まで。(090-7426-5553)